

『時事直言』No.1770 2025年11月4日 国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313 [mail] info@chokugen.com

[X(旧twitter)] [@t_masuda2019](https://twitter.com/t_masuda2019) [Youtube] 増田俊男チャンネル/

[Instagram] [@t_masuda2019](https://www.instagram.com/t_masuda2019)



時事評論家 増田俊男

名優高市早苗宴の後

高市早苗の忙しい劇場出演巡りが終わった。

トランプとは、安倍晋三の遺産と女性であることのお陰で良好な関係が築かれた。

日本の生命線である安全保障は、皮肉にも日本の行政官区内の軍事行動の自由を持ち事実上日本を軍事占領している米軍によって守られているのだから、日米関係の基本は日本の対米依存又は従属の枠内である。

従って日本にとって良好な対米関係とは、出来るだけ対米従属度を減らし、又は表に出さないことがある。

5,500兆ドル(83兆円)の対米投資で言うなら、投資対象と金額はトランプが決め、日本に拒否権は無いが、どれだけトランプに高市のアドバイスに耳を傾けさせるかである。

それにしても高市がトランプに「ご一緒に日米ゴールデンエイジ(黄金時代)を築きましょう」とトランプの好きなゴールデン(黄金)と言う言葉を使ってトランプを見つめたのは見事であった。

トランプのあの嬉しそうな顔は忘れ難い。

韓国の李在明とは未来志向で一致した。

未来志向とは、出来るだけ過去のことは忘れましょうと言うことである。

日本と韓国との間には永遠の歴史問題が存在する。

韓国がノ・テウ大統領、日本が安倍首相の時慰安婦問題は解決し、問題の蒸し返しをしないことで合意したが、慰安婦問題は今日まで延々と続いている。

加害者日本にしてみると不本意極まりないが、被害者韓国にしてみると、いつまでも痛みは忘れられない。

政治は過去を打ち消すことが出来ないのである。

日本に対する韓国の歴史的被害者意識と劣等感は永遠に消えることはない。

高市に出来ることは「未来志向」でどれだけ韓国に過去を忘れさせることが出来るかである。

それにしても高市は見上げた政治家だ。

「私は韓国の海苔が大好き、コスメも使っています、韓国ドラマも見てます」と言った一言で韓国民の対日劣等感がどれだけ和らいだだろうか。

高市が総理に就任した時、習近平が祝電を送らなかったのは、高市は日本が加害国、侵略国であ

ること反省し謝罪した村山談話に反対の立場だからである。

中国の場合は、韓国のような対日劣等感はない。

中国にしてみると、中国は古代から霸權大国であり、中国が世界の中心的存在であるとする中華思想の国である。

小国日本がいち早く近代化したことを良いことに、こともあるうに中国の権威と名誉を傷つけたことが許せないのである。

それにしても高市が詔うことなく「中国は重要な国だ」と繰り返して言ったのが「中国は偉大な国だ」と言おうとしていたことが習近平は分かつただろうか。

トランプは習近平に「あなたは偉大な国の偉大な元首だ」とお世辞を言って喜ばせたが、

アメリカの相手は中国であり、中国の相手はアメリカである。

トランプにとって高市は対中戦略の道具であり、習近平にとって高市は対米けん制のために必要な存在である。

高市が望む日中関係強化は習近平にとってトランプをけん制することに役立つ。

習近平としては高市に微笑まず、警戒感をのぞかせることで高市の方から積極的に中国にすり寄つて来るのを待った。

それは正に高市が次にしようとしている習近平の国賓招聘と天皇陛下謁見である。

高市が国賓招待を今回口にしなかったのは賢明であった。

習近平を少しじらしたほうが習近平に対して高市の格が上がる。

私にとっては、それぞれの首脳の記者会見や声明文より首脳たちの目に見えない駆け引きに興味がある。

高市劇場最後の部は観客総立ちで歓喜と割れんばかりの拍手で幕が降りた。

観客は劇場を出て家路につく。

狂乱のニッケイ史上最高値 52,260 円も家路に向かう。

好評先行受付中！増田俊男の小冊子 Vol.153

『知っていますか、「日本は今世紀の奇跡」であることを』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 153 は好評先行受付中です。

内容は、*敗戦と日本の奇跡 *平成の鬼平（三重野康） *「日銀は政府の子会社である」（安倍晋三） *日本の逆説的（占領下）安全保障 *誰も知らない日本だけの安保政策 *日本は世界一債務大国で世界一債権大国などです。価格は、1冊 5,800 円(送料別)。

※発送開始は 11 月中旬予定。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。